



行方市
NAMEGATA

に 湖 と 大地 の な め が た
式湖と大地のなめがた

議会だより

No.56

令和元年8月1日発行

発行者：行方市議会 〒311-3512 行方市玉造甲404 TEL0299 (55) 0111 編集：広報委員会



玉造第1・2・3保育園の食育事業（行方市開発公社）

主な内容

令和元年
6月
定例会

- 第2回（6月）定例会
（あらかし、議案の説明、議決結果など）… 2～8 P
- 一般質問（8名の議員が登壇） …… 9～13 P
- 委員会レポート・お知らせ・市民の声 … 14～15 P
- 議会トピックス（議会日誌、傍聴案内等）… 16 P

令和元年

6月定例会

一部改正条例など
全 20 議案を原案のとおり
可決及び同意



第2回（6月）定例会のあらまし

第2回定例会は、6月3日から21日までの19日間の会期で開かれました。

今定例会では行方市一般会計継続費繰越計算書の報告のほか、人事案件、条例の改正、補正予算の全18議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

また、議員から特別委員会の設置に関する決議2件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。一般質問には8名の議員が登壇し、市の方針等を質しました。

6月3日(月)【委員会】 議会運営委員会

【本会議】 開会、会期の決定、諸般の報告、

議案の上程、提案理由の説明

5日(水)【本会議】 一般質問（4議員）

6日(木)【本会議】 一般質問（4議員）

10日(月)【本会議】 議案質疑、委員会付託

（予算特別委員会設置、委員の選任）

【委員会】 予算特別委員会

12日(水)【委員会】 総務委員会

14日(金)【委員会】 経済建設委員会

17日(月)【委員会】 予算特別委員会

21日(金)【委員会】 議会運営委員会

【本会議】 委員長報告、質疑、討論、採決、追

加議案（補正予算1件、特別委員

会の設置2件）

【委員会】 行方市議会活性化特別委員会

【委員会】 行方市議会地域医療調査特別委

員会

【本会議】 閉会中の所管事務調査、議員の

派遣、閉会

市長が提出した議案等

条例

一部改正

行方市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律（昭和25年法律第179号）及び公職選挙法（昭和25年法律第100号）の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行いました。

【改正の内容】

職名	改正前	改正後
投票管理者	12,600円	12,800円
期日前投票所投票管理者	11,100円	11,300円
投票立会人	10,700円	10,900円
(従事時間7時間未満)	5,400円	5,500円
期日前投票所投票立会人	9,500円	9,600円
開票管理者	10,600円	10,800円
開票立会人	8,800円	8,900円
選挙長	10,600円	10,800円
選挙立会人	8,800円	8,900円

行方市あそび温泉「白帆」湯一条例の一部を改正する条例

行方市あそび温泉「白帆」の湯一の計画的な維持管理及び受益者負担の原則に基づき市民負担の公平性の観点から、使用料の改定を行いました。

討論

■反対討論
 ・いきなりこの値段設定では、温浴施設利用者の理解が得られない。
 ・段階的な値上げなど、再検討が必要である。

【白帆の湯 使用料の改定内容】 令和元年 10月1日から

区分	改定前使用料	改定後使用料
一般	700円	740円
子供 ※1	300円	310円
一般(夜間)	500円	530円
子供(夜間) ※1	200円	210円
通常回数券 (一般)	7,000円	7,400円
(子供) ※1	3,000円	3,100円
夜間回数券 (一般)	5,000円	5,300円
(子供) ※1	2,000円	2,100円
一般年間会員(市内)	16,000円	37,700円
(家族)	10,000円	29,300円
(市外)	26,000円	45,100円
シルバー年間会員	5,000円	29,300円
グループ年間会員 ※2	100,000円	—

※1 「子供」は「子ども又は障がい者」へ変更
 ※2 グループ年間会員は廃止

【北浦荘 使用料の改定内容】 令和元年 10月1日から

区分	改定前使用料		改定後使用料		
	個室利用の場合	入浴のみ	個室利用の場合	入浴のみ	
市内	子ども(小学生)	500円	200円	500円	210円
	一般(中学生以上65歳未満)	700円	400円	700円	420円
	65歳以上	500円	300円	500円	310円
市外	子ども(小学生)	500円	200円	500円	210円
	一般(中学生以上)	900円	400円	900円	420円
共通	障がい者	500円	200円	500円	210円
回数券	子ども又は障がい者	—	2,000円	—	2,100円
	一般(中学生以上)	—	4,000円	—	4,200円
	市内65歳以上	—	3,000円	—	3,100円
一般年間会員	市内	—	—	—	24,100円
	家族	—	—	—	19,900円
	市外	—	—	—	29,300円
シルバー年間会員	—	—	—	—	19,900円

行方市北浦荘条例の一部を改正する条例

行方市北浦荘の計画的な維持管理及び受益者負担の原則に基づき市民負担の公平性の観点から、使用料の改定を行いました。

討論

■反対討論
 ・あまりに突然の料金設定の変更で、温浴施設利用者の理解が得られない。
 ・北浦荘は今まで年間会員がなく、現在、白帆の湯の年間会員になっている人と比べて

ると、新料金移行までの期間は料金が高くなり、平等性に欠ける。再検討が必要である。

■賛成討論
 ・25年近く料金を改定していないため、現状が反映されていなかったが、新料金の額については、現状を考慮した料金である。
 ・検討委員会の意見を尊重する。市民全体の意見だと判断し、賛成である。

※討論終了後、採決を行い、賛成13、反対4の賛成多数で原案を可決。

行方市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び行方市土採取事業規制条例の一部を改正する条例

学校教育法の一部を改正する法律（平成29年法律第41号）が施行されたことに伴い、所要の改正を行いました。

【改正の内容】

一般廃棄物処理施設に係る技術管理者又は土採取事業に係る採取計画を作成する者となる基礎資格を有する者として、専門職大学の前期課程を修了した者について、対象者に追加する。

行方市水道事業における布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例

学校教育法の一部を改正する法律（平成29年法律第41号）及び技術士法施行規則の一部を改正する省令（平成29年文部科学省令第45号）が施行されたことに伴い、所要の改正を行いました。

【改正の内容】

・水道の布設工事に関する技術上の監督業務を行うものとなる

基礎資格を有する者として、専門職大学の前期課程を修了した者を対象者に追加する。

・技術士試験の選択科目の見直しにより、上下水道部門に係る選択科目（上水道・工業用水道・水道環境）から水道環境を削除する。

（見直し前に水道環境を選択した者については、上水道及び工業用水道を選択したものとみなす。）



諮問人事

人権擁護委員候補者の推薦

小澤 忠喜（南高岡）

前任者が令和元年9月30日で任期満了となるため、後任として、小澤氏を新たに推薦することに同意しました。任期は3年です。

報告

平成30年度行方市一般会計継続費繰越計算書ほか6件の報告がありました。

■平成30年度行方市一般会計継続費繰越計算書の報告について

■平成30年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計継続費繰越計算書の報告について

■平成30年度行方市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

■平成30年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

■平成30年度行方市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

■平成30年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書の報告について

■平成30年度行方市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

本会議の内容を知りたい

本会議の内容は、なめがたエリアテレビやインターネット録画中継でもご覧になれますが、会議の公式記録は会議録となります。

会議録は、インターネットにて全文を確認できます。

また、発言者や発言内容でも検索することが出来ますので会議録をご覧ください。

会議録は、市議会ホームページで「会議録」を選択してください。

行方市議会 会議録検索システム

TOP
閲覧
検索
設定

ご覧になる会議名や開催年を、一覧から選択してください。

最新の本会議	開催年から閲覧する
▶平成30年 12月 定例会（第4回）	平成30年 >
▶平成30年 9月 定例会（第3回）	平成29年 >
▶平成30年 6月 定例会（第2回）	平成28年 >
▶もっと見る	平成27年 >
	平成26年 >
	▶もっと見る

委員会

第2回定例会で付託された議案等について審査しました。

総務委員会

(6月12日)

議案第33号 行方市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

経済建設委員会

(6月14日)

議案第34号 行方市あそひ温泉「白帆の湯」条例の一部を改正する条例について
 議案第35号 行方市北浦荘条例の一部を改正する条例について

議案第36号 行方市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び行方市土採取事業規制条例の一部を改正する条例について

議案第37号 行方市水道事業における布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について

議案第38号 令和元年度行方市一般会計補正予算(第1号)について

予算特別委員会

(6月17日)

第2回定例会に提出された各補正予算は予算特別委員会が設置され審査されました。

正副委員長の互選

委員長 大原 功坪
 副委員長 栗原 繁

付託された議案

議案第39号 令和元年度行方市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

議案第40号 令和元年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

議案第41号 令和元年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について



～ 議会へ請願・陳情される方へ ～

請願・陳情とは、市民が市政についての要望や意見を直接「議会」に提出する方法です。

- ※ 請願書(陳情書)はその要旨、理由を簡単に分かりやすく書いてください。
- ※ 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ※ 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に自筆による署名及び押印が必要です。
- ※ 紹介議員が見つからないときは、陳情書としてください。
- ※ 提出方法については、議会事務局へお問い合わせください。

(表紙例)

〇〇〇に関する 請願(陳情)書	
紹介議員 署名	印

(内容例)

〇〇〇に関する請願 (陳情)	
1. 要旨	
2. 理由	
令和 年 月 日	
請願(陳情)者の住所	印
氏名	
行方市議会議長	殿

議員が提出した議案等

特別委員会の設置

行方市議会活性化特別委員会の設置について

地方自治法第112条及び委員会条例第6条に基づき、議会の改革、議会活動の活性化及び住民にわかりやすい議会運営についての調査及び研究を行うことを目的とした、特別委員会の設置を提案し、可決されました。

正副委員長の内選

委員長 栗原 繁
副委員長 土子 浩正

行方市議会地域医療調査特別委員会の設置について

地方自治法第112条及び委員会条例第6条に基づ

き、昨今の医療を取り巻く極めて厳しい情勢の中で、議会として地域の医療機関が担っている医療機能の現状把握、分析を行うとともに、医療体制が後退しないよう体制の確保、ひいては地域住民の健康と命を守るために調査及び研究を行うことを目的とした、特別委員会の設置を提案し、可決されました。

正副委員長の内選

委員長 高木 正
副委員長 高橋 正信



本会議を映像でご覧になれます。

本会議の様子を「なめがたエリアテレビ」にて、生中継しています。

また、インターネット(PC、スマホ)では、録画中継をしています。

現在、平成29年第2回定例会から令和元年第1回臨時会までがご覧になれます。第2回定例会も準備が整い 次第公開いたします。



なめがたネット放送局を検索し、市議会録画中継へ

スマホで読める！議会だより デジタルブック配信しています

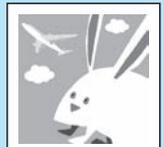
※ デジタルブックの配信は発行日の10日後となります。

- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読めます。
- 10言語で読めます。
- 音声読み上げもできます。
- 文字サイズを調整できます。

※ブラウザは音声読み上げに対応しておりません。

音声読み上げには無料アプリ(カタボケ)のインストールが必要です。

無料アプリ『カタボケ』
このアイコンが目印 →



令和元年第2回行方市議会定例会 提出議案議決結果

《市長提出議案》

議案番号	件名	議決結果
報告第8号	平成30年度行方市一般会計継続費繰越計算書の報告について	—
報告第9号	平成30年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計継続費繰越計算書の報告について	—
報告第10号	平成30年度行方市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第11号	平成30年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第12号	平成30年度行方市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	—
報告第13号	平成30年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書の報告について	—
報告第14号	平成30年度行方市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意(全会一致)
議案第33号	行方市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第34号	行方市あそ温泉「白帆の湯」条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第35号	行方市北浦荘条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第36号	行方市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び行方市土採取事業規制条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第37号	行方市水道事業における布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第38号	令和元年度行方市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第39号	令和元年度行方市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第40号	令和元年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第41号	令和元年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第42号	令和元年度行方市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決(全会一致)

《議員提出議案》

議案番号	件名	議決結果
発議第2号	行方市議会活性化特別委員会の設置に関する決議について	原案可決(全会一致)
発議第3号	行方市議会地域医療調査特別委員会の設置に関する決議について	原案可決(全会一致)

議員賛否一覧表

(賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=-、議長=■)

賛否が分かれた議案 と 賛否結果	1 中城 かおり	2 伊勢山 仙寿	3 高野 市郎	4 阿部孝 太郎	5 藤崎仙 一郎	6 小野瀬 忠利	7 栗原 繁	8 土子 浩正	9 貝塚 俊幸	10 鈴木 裕	11 宮内 守	12 高橋 正信	13 小林 久	14 高木 正	15 大原 功坪	16 鈴木 義浩	17 高柳孫 市郎	18 岡田 晴雄
議案第 34 号 行方市あそ う温泉「白帆の湯」条例の一部 を改正する条例について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	■
議案第 35 号 行方市北浦荘 条例の一部を改正する条例に ついて	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	■

※議長は通常、表決に加わりません。

※棄権は表決する権利を行使しなかった場合です（棄権は退席を含む）。

今定例会で補正された予算（令和元年度）

会計別	補正額	主な内容	総額
一般会計 (第1号)	2億2,716万 4,000円増額	- 歳入 - ・母子福祉費補助金/56万6,000円 ・プレミアム付商品券補助金/5,409万8,000円 ・前年度繰越金/1,000万円 ・自治総合センターコミュニティ助成金/250万円 ・プレミアム付商品券売上金/1億6,000万円 - 歳出 - ・市町村派遣職員負担金/1,000万円 ・コミュニティ助成事業補助金/250万円 ・プレミアム付商品券事業/2億1,409万8,000円 ・未婚の児童扶養手当受給者臨時特別給付事業 /56万6,000円	166億 6,716万4,000円
農業集落排水事業 特別会計 (第1号)	140万円増額	- 歳入 - ・農業集落排水施設接続支援事業補助金/132万円 ・前年度繰越金/8万円 - 歳出 - ・排水設備工事補助金/140万円	2億9,540万円
特定環境保全公共 下水道事業特別会計 (第1号)	2,550万円増額	- 歳入 - ・公共下水道事業費補助金/750万円 ・下水道事業債/1,800万円 - 歳出 - ・公共下水道整備事業/2,550万円	6億8,250万円
流域関連公共下水道 事業特別会計 (第1号)	528万円増額	- 歳入 - ・公共下水道事業費補助金/249万3,000円 ・前年度繰越金/8万7,000円 ・霞ヶ浦水郷流域下水道事業債/270万円 - 歳出 - ・公共下水道整備事業管渠実施設計委託料/528万円	3億4,828万円
一般会計 (第2号)	600万円増加	- 歳入 - ・オリパラ事前キャンプ交流事業補助金/100万円 ・前年度繰越金/500万円 - 歳出 - ・オリパラ交流事業実行委員会補助金/600万円	166億 7,316万4,000円

市の考えを問います

一 般 質 問

8名の議員が登壇し、市執行部に対し方針等を問いました。

6月5日（4議員）

小野瀬 忠利（一問一答）……………10 ページ

- 1 農業振興について
- 2 高齢化社会への対応について
- 3 子育て支援について
- 4 学校教育について

貝塚 俊幸（一問一答）……………10 ページ

- 1 市民福祉について
- 2 生活環境について
- 3 道路行政について
- 4 文化財について

中城 かおり（一括）……………11 ページ

- 1 行方市 PR について

伊勢山 仙寿（一問一答）……………11 ページ

- 1 なめがた地域医療センターの動向について
- 2 高齢者福祉について
- 3 地方創生について



土浦協同病院なめがた地域医療センター

6月6日（4議員）

高橋 正信（一問一答）……………12 ページ

- 1 防災・減災対策について
- 2 将来に希望のもてる街づくりについて
- 3 道路整備について
- 4 高齢者支援について

阿部 孝太郎（一問一答）……………12 ページ

- 1 行方市の人口動態に関して
- 2 行政運営の効率化に関して

高野 市郎（一括）……………13 ページ

- 1 建設行政について

小林 久（一括）……………13 ページ

- 1 地域医療問題
- 2 市民への情報伝達

一般質問とは・・・

議員が市行政全般にわたり、執行部に対し、執行状況及び将来に対する方針等について質し、あるいは報告、説明を求め又は、疑問を質すことです。
(制限時間 90分)

※ 次頁からは要約して掲載しています。全文については、市ホームページでご覧いただけます。
[行方市 HP → 行方市議会 → 会議録]



小野瀬 忠利 議員

農業振興について

問 農業振興について

答 市長 国や県の支援事業を積極的に取り入れ、関係機関と連携し強化させ、農家の所得向上に向けた施策を展開していきます。

答 経済部長 平成29年の農業産出額は272億3千万円で、合併時に比べ、29億4千万円増加しているが、農地、水田については、谷津田において、荒廃した休耕地が増加している。整備された水田でも、高齢化、兼業化が進めば耕作を続けることが難しくなる。農業従事者は年々減少し、高齢化が進み、後継者不足は依然課題であり、意欲ある農業者に農地を集積、集約するため、農業委員会など関係団体等と連携しながら、地域ごとに協議、検討してまいります。また、全筆調査の結果についても、人・農地プランにリンクさせ、集

積・集約を進めていきたい。

学校教育について

問 学校教育について、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導、運営体制の構築のための、学校における働き方改革に関する総合的な方策についての作業、働き方改革の推進が求められているが

答 教育長 教師の働き方改革を見直し、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行なうことができるようにすることは喫緊の課題です。教師が本務において持てる力を十分に発揮して子供たちに向き合えるよう、保護者や地域とともにある学校を目指して、学校への支援の推進、各種団体、市役所等の各課からの授業の依頼等を精選するとともに、組織的マネジメントに必要な人的、物的、資金的、情報的環境を、できる範囲で充実させていく必要があります。

その他、次の質問がありました。
・ 高齢化社会への対応について
・ 子育て支援について



貝塚 俊幸 議員

市民福祉について

問 プレミアム付商品券事業について伺う

答 市民福祉部長 消費税率引き上げにより低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和し、地域の消費を支えるため、プレミアム付商品券を発行販売する。対象者は住民税非課税者、3歳未満の子を持つ世帯主とし、費用は全額国から支給される。額面は5千円を一冊4千円で市内郵便局の窓口で販売する。

道路行政について

問 国道、県道、市道における通学路の安全対策の強化と見直しについて伺う

答 建設部長 国・県道における歩道の未設置箇所等、通学路として安全が確保できない箇所は、茨

城県に強く整備の要望をします。国道355号、消防本部玉造出張所から八木時万才久入口の信号機までの箇所に歩道がない件は、調査をした所、平成12年に用地測量を実施したが、用地買収に協力を得られず、茨城県が事業を断念した経緯があります。しかし、それから20年経過しており、土地利用の変化などもあるかもしれませんが、今後管理者である茨城県に対して、再開の可能性について協議を進めてまいります。

問 今年度も区長より舗装工事の申請が出ていると思うが、浜地区浜見台の舗装工事、また、谷島の入口の整備について

答 建設部長 舗装が休止状態となっている理由の一つに、所有者不明土地がある。最近になり法整備が進んでいるが、所有者が不明になっている土地問題を基本的に解消するものではない。本市としては、地域の方々が所有者に代わって、管理・利用の役割を担う制度が構築されてきているので、情報を提供して支援を行うなどの取り組みをしていきたいと考えている。

行方市PRについて

問 トップセールスやイベントの成果について

答 市長 地域資源や多様な魅力を市内外に発信しており、農産物については、私自ら消費者や実需者に直接PRし、成果も上がってきていると確信しています。

答 経済部長 昨年、当時JAなめがたのご協力で、神戸市のコープこうべが運営するコープデイズ神戸北町において、市長のトップセールスを行い、コープこうべ各店舗において、本市農産物の販売が大きく伸びているとの報告を受けています。また、本市のイベントにおいても、集客数は年々増加しており、PR効果は非常に高いと考えています。



中城 かおり 議員

問 インターネット発信状況、ふるさと住民票登録状況について

答 理事兼政策推進室長 本年5月現在、フェイスブック4、ツイッター4、インスタグラム1、クックパット1、ユーチューブ2を公開し、全庁的な活用に取り組んでいます。ふるさと住民制度では5月末現在で79名の申し込みがあり、本市の情報発信にもご協力いただけるようお願いをしたいと思います。

問 市の60品目以上の農産物やレシピの活用、旧みずまるレストランの活用について

答 経済部長 観光物産館こいこいに対し、本市の豊富な食材の魅力をアピールできる新メニュー開発の指導をしていきます。

答 企画部長 旧みずまるレストランは開発公社、商工観光課、観光協会、農林水産課、なめがた食彩マーケットなどと連携、協議をし、にぎわい作りや観光や食の情報、市の情報の発信事業を展開していきたいと思えます。

なめがた地域医療センターの動向について

問 なめがた地域医療センターの動向と診療体制について

答 市長 去る5月29日になりましたが、土浦協同病院なめがた地域医療センターのあり方検討会が実施されました。この検討会は、継続的に開催されますので、引き続き市民の皆様が安心して診療できる体制の回復を強く要望していきます。

高齢者福祉について

問 介護に関して本市の取り組みについてと、高齢人口増加について

答 市民福祉部長 特に介護を行っている方、家族の方は非常に疲れてしまう。そういったことに対処するため、在宅介護支援センターを4ヶ所と地域包括支援セン



伊勢山 仙寿 議員

ターを開設しています。そういう中で、地域の皆さんの力を借りながら、家族を支援していく体制、そういった地域づくりを目指していきたいと考えています。

地方創生について

問 人口減少について、現状と今後の取り組みについて伺う

答 市長 地方創生について、少子高齢化の課題があります。人口減少に歯止めをかけることも、「笑顔で住み続けたいまち、行方」を目指して、住みやすい環境の確保と、将来にわたって活力ある社会を維持していくことに取り組んでいくことを目標としています。

問 農業振興地域において、農家の子が家を建てたい場合について

答 農業委員会事務局長 農地の営農条件等から見て、第1種から第3種農地まで区分が定められており、第1種農地の転用は、農業用施設等を除き、原則、許可となり得ない農地ですが、例外として、居住する者の日常生活上、又は業務上必要な施設で、集落に接続して設置されるものと判断されれば、許可となり得る農地となります。



高橋 正信 議員

防災・減災対策について

問 地域防災計画は発災時、発災後の対処であり、この国土強靱化地域計画は事前の予防計画で、事前・事後の関係性になることを踏まえれば、これこそ行方市の安全、安心計画になると思いますが、市長の所見を伺いたい

答 市長 事前の段階でどこまでこの行方市の強靱化が図られているのか、事前の計画は立てるべきであり、災害に強いまちづくりをしていかなければ、安全、安心な暮らしができないと感じています。この強靱化計画はしっかりとつくり上げるべきだと思います。

問 鹿嶋市、神栖市、銚田市でも防災士資格取得補助制度を創設されていると言われましたが、本市においても、この制度に取り組んでいただきたい

答 市長 制度を構築していき

いと思えます。

将来に希望をもてる街づくりについて

問 食品ロス削減への対応と行政の考えを伺いたい

答 市民福祉部長 持続可能な社会をつくり上げるためには、市民、社会全体で無駄をなくす取り組みが重要になってきています。市としての食品ロス削減推進計画を策定し、食品ロス削減に努めていく考えです。

道路整備について

問 市道（北）111号線の進捗状況を伺う

答 建設部長 平成30年度には改良計画により、排水流末となる水路を整備するための路線測量、詳細設計及び用地測量を実施し、水路用地の取得が完了したところであります。今年度は、延長460メートルの流末排水路のうち、一部の区間において、整備工事に着手する予定です。また、流末排水の整備完了後には、速やかに本線の道路改良工事に着手できるよう、引き続き本線の用地取得を推進してまいります。



阿部 孝太郎 議員

行方市の人口動態について

問 人口動態の現状は

答 市長 平成17年と比べると約7,000人の減少があり、その傾向は加速している。それらを悲観するのではなく、行方ならではの価値を見出し、市民がその価値を共有していくことが、市の将来像を設計していく上での重要なポイントだと考えます。

答 企画部長 平成29年の人口動態を見てみると、出生が166人、死亡533人で、自然減367人、転入が1,105人、転出が1,216人で、社会減が111人とになっており、合わせると478人の減となる。合併以降、平成29年度までの人口動態を見ても、年平均約500人、正確には479人の減となっております。

問 結婚支援策のこれからは

答 企画部長 これまでの事業を精査しながら、関係団体等と連携を進めていきたい。広域で実施することで参加者の固定化が解消され、女性の参加申し込みもふえたことから、他の市町村と連携をして実施する予定です。

問 定住支援策のこれからの展望は

答 市長 定住応援助成金などがスタートし、平成23年度から平成30年度の間で約500人の定住・移住につながっており、一定の成果が出ているものと考えます。

答 企画部長 定住応援助成金は、同一敷地内への建築など、要件に該当しないケースが少なくなかったが、制度の見直しを行い、今年度から、同一敷地内へ建築した場合でも5万円を交付できるよう要件等を緩和した住宅取得特別助成金を加えた。次に定住・移住促進住宅整備事業は、学校跡地の有効活用と同時に、旧玉造小学校跡地に定住・移住促進住宅を整備するもので、PFI事業により効率的・効果的な方法での事業実施を目指していく考えです。

建設行政について

問 市道(麻)1435号線拡幅の進捗状況及び今後の計画について

答 建設部長 この路線は富田地区の国道355号と平行して宅地間を通る路線で、地区の生活道路として大変重要な道路です。現況の幅員は2.5M前後と狭隘であり、今年度は用地の取得及び補償を予定しており、地権者の皆様の協力を頂きながら、整備促進に努めます。

問 市道(麻)1435号線拡幅の進捗状況及び今後の計画について

答 建設部長 この路線は麻生玄通地区の生活道路として利用されている。現況の幅員は2.5〜3.5Mで見通しが悪く、車両のすれ違いが困難な道路です。今年度は地権者



高野 市郎 議員

の皆様の協力を頂きながら、用地測量を実施、来年度以降、用地の交渉、取得を進め、生活道路として整備を予定しています。

問 前川流域雨水下水道法事業計画排水路拡幅の進捗状況及び今後の計画について

答 建設部長 この排水路整備について、前川流域では平成25年の台風による浸水被害が広範囲にわたった為、今年度は詳細な設計を実施します。近く前川流域全体の浸水対策に関する説明会を予定。(7月末頃)

問 粗毛・石神線(都市計画道路)の進捗状況と今後の計画について

答 建設部長 東関東自動車道、仮称麻生インターから県道の水戸神栖線に向かうまでの区間をこの路線が担う事になり、今年度はこの都市計画道路と水戸神栖線が交差する所で改良工事を予定、その後国道355号に向かって粗毛・石神線(都市計画道路)の道路整備を順次計画しています。

地域医療問題

問 医療の現状と課題

答 市民福祉部長 救急受け入れ態勢の縮小で、搬送時間が延びることが課題となり、また鹿行医療圏での医師数が、二次医療圏別医師偏在指標にて、全国355医療圏中329位と、著しく医師体制が脆弱な地域です。

問 市長 もとの形が本来の要望

です。せめて100床、緊急手術ができるレベル、救急が受け入れられるレベルがないと、地域の安心、安全が守りきれない。地方創生の部分からかけ離れてしまう。子ども達も、近くにないと問題になる。その点は、各関係機関、県、厚生連にも訴えているし、今後もそのような形で思っています。早速、土浦協同病院なめがた地域医療センターあり方検討委員会を立ち上げて、次年度、もしくはは途



小林 久 議員

中での対応を考えています。今回の消費税のアップによって、どれ位の経費が出て行くのかが読み切れないとの話も伺っており、その点を踏まえてやっていきたい。

市民の情報伝達

問 防災対応型エリア放送の進捗

答 企画部長 難視聴エリア解消対策とし、放送アンテナ設置局を20局増設する計画で、現在の進捗状況は、予備免許申請10局分を6月中に行い、予備免許取得後、光ファイバー伝送路を敷設する工事を発注する計画で、完了した所から順次放送アンテナを設置します。

問 災害発生時の状況

答 企画部長 メールマガジン配信は、事業者を経由し、利用登録者へ配信されています。火災情報のメールは、鹿行広域消防本部から配信されており、現在、火災情報メールの一部で利用登録者への遅延が発生している。今後管理会社・関係機関と連携を図りながら、課題解決に向け対策を講じます。

地域医療体制の充実に関する要望書

に対する回答がありました。

平成31年第1回定例会において決議した、地域医療体制の充実に関する決議を要望書として、茨城県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長へ提出いたしましたところ、令和元年5月24日に回答がありました。

【要望書への回答要旨】

土浦協同病院なめがた地域医療センターの診療体制について
・常勤医師 (平成31年4月から) 10名体制。随時増員に努める。

・外来機能

診療科は基本的に従来どおり。土浦協同病院からの医師派遣により充実を図る。人工透析も継続する。

・入院機能

地域包括ケア病棟49床に再編、維持



・議長に回答書を提出する厚生連 小堀 代表理事理事長

・救急患者の対応

診療時間内は、従来どおり。休日・夜間は土浦協同病院で対応。

・その他

各種健康診断・人間ドックも継続。訪問リハビリに加え、訪問看護を実施。

・今後の在り方

地元行政、県、関係機関等を構成メンバーとする機関を設置し、今後の在り方を協議・検討する。

また、回答書の説明を受けて、議員より次のような質疑がなされました。

○救急の手術には対応できるのか？

■現在、麻酔科の先生がいなかったため、局部麻酔の手術までの対応となっている。夜間・休日、大きな手術については、土浦協同病院で対応する。

○救急医療の設備はどうなるのか？

■今後、病院の方向性も含めて検討を行うっていくところなので、現段階では、しばらくの間休止という対応になっている。

○要望書提出の際に、元通りになるよう最善の努力をするとの言葉を頂いたが、その考えに変わりはないか？

■199床あった病床の稼働率が50〜60%であった経過もあり、全て以前と同じよう「元通り」は難しいが、できるだけ地域の期待に添えるよう、在り方について検討していく。

委員会レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

《教育厚生委員会》

委員長 高木 正

6月27～28日

●教育厚生委員会において、6月27日から28日にかけて、管内施設の視察を行いました。

27日は、地区学習センター（玉川・現原）・地区館（小高・大和・要・武田）における現状の視察として、現地を回り、使用頻度や建物の老朽化の状況などの確認と、麻生運動場体育館及び弓道場の突風被害箇所の復旧状況、麻生運動場多目的グラウンド・麻生公民館の改修工事の結果についても確認を行いました。

また、今後の行方市の教育・生涯学習施設の在り方について共通の認識を持つため、教育委員の方々を招き、視察を行った各地区施設の今後についてや、行方市の教育に関する良い面、改善すべき面についての意見交換、情報共有を行いました。

28日は、グループホームいっしん館（麻生）、放課後児童クラブ（麻生東キッズ・玉造キッズ）、土浦協同病院なめがた地域医療センターに伺い、現状と今後の課題などについて、説明を頂きました。

グループホームいっしん館（麻生）はユニットケアの施設で、1階、2階にそれぞれ9名、合計18名の方が共同生活を送られています。3人に対して1人の割合でスタッフがおり、職員は1階6名、2階6名の計12名で、入所者のみなさんとは家族のように接しているとお話を伺うことができました。

放課後児童クラブでは、各キッズにおける平均利用数や、防犯カメラ・インターホンの設置などの現在行っている防犯対策

策のほか、改善が必要な点などを支援員の方々に伺いました。また、実際に子ども達が利用しているところを拝見し、部屋の大きさや運営状況についても視察させて頂きました。

土浦協同病院なめがた地域医療センターでは、今年4月からの診療体制の変更に伴い、現在の体制や患者数の推移などについて説明をいただきました。

外来診療については、なるべく各診療科においてまんべんなく診療を行えるよう体制を整えていることや、小児科の先生の常勤化を目指し調整を行っていることなど、病院の現状について伺いました。その他にも、次のような質疑がありました。

○救急車の出勤時間について

■対応の徹底により、4月の救急搬送時間は結果的に短くなっている。ただし、救急外来を夜間休日に行えないままで良いと考えているわけではないため、今後検討を重ねていくべき問題である。

○休日・夜間の受け入れについて、特別な事情がある場合は行っているのか？

■退院して間もない患者さんの容態が悪くなった場合等は受け入れを行っている。また、患者さんの情報はシステムによって、土浦協同病院と共有されているので、その他の場合でも土浦協同病院で受け入れが可能である。



・現在休止中の病棟を見学

表彰されました

全国市議会議長会と茨城県市議会議長会から永年勤続議員として地方自治の発展と市政振興に努めた功績を称え、次の議員が表彰されました。

鈴木 義浩	議員
宮内 守	議員
高柳孫市郎	議員
鈴木 裕	議員
貝塚 俊幸	議員
土子 浩正	議員
栗原 繁	議員



右から鈴木義浩議員、宮内守議員、高柳孫市郎議員、鈴木裕議員、貝塚俊幸議員、土子浩正議員、栗原繁議員

今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

ちょっとひと言!!

市民の声



市民が市報委員の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



はかなりの時間はかかりますが、開通したら全国各地から茨城・行方市へ足を運んでくれることを望んでいます。

行方市には、正直「観光地」が少ないと感じます。市町村・地域・行政と連携を取り、それぞれの特産物を活かした活動を取り入れて欲しいと思います。人口増加、若者が集まるような行方市となることを強く望んでいます。
(20代・女性)

●スクールバスで通学する学区での、夏休み中などの部活動への送迎に、保護者はちょっと悩んでいます。部活動へ行く方法で、市営バスのルートの中に、子供たちにも利用できるルートがあればすごくありがたいと思います。

(例) 朝の時間、中学校前まで運行
(例) 昼の時間、中学校からスタートするルートなど
大人から子供たちまで利用できる市営バスのルートがあると、すごくありがたいです。
(40代・女性)

●他市より行方に嫁いで数年、子育てしながら思うこと。公園が少ないのが残念です。公園は色々な年頃の子とも同士が交流したり、地域の人達が自然に集まる場所。そんな公園がもっと

あれば良いと思います。そして感心したこと。道ですれ違う子どもたちが「こんにちは」と挨拶してくれます。以前住んでいた所では、知り合いでなければ無いことです。清々しい気持ちで一杯になります。いつまでもそんな行方であってほしいと願います。
(40代・女性)

●なめがたエリアテレビについて、すべての地域で見られるようにして欲しいです。
友人達から話を聞くと、面白そうだと思うのですが、残念ながら私の地域ではまだ見ることができません。
どうか早くすべての地域で見られるように、整備をお願いします。
(60代・女性)

●最近、なめテレを観るのが、楽しみになってきましたが、もう少し工夫を凝らすと良いなと思う内容が議会中継です。
中継が中断されている間、音楽と霞ヶ浦の景色が映されています。生放送なので納得は出来るのですが、この時間を利用して議員や市役所部長の紹介、課の案内等を放送していただくと、更に良い議会中継が出来るのではないのでしょうか。

今後のなめテレを期待しています。
(50代・女性)

行方市に視察に来訪されました



三重県 鈴鹿市議会

新緑風会（4名、7月9日）

「行方市営路線バスについて」

- ・スクールバス活用試験運用の検証結果
- ・ふれあい号の運営手法

ほか

今後ますますの発展をご祈念いたします。

行方市議会情報を、市公式ホームページに掲載しています。

ホームページでは、過去の「行方市議会だより」も見ることができます。

また、本会議の日程等をメールマガジンで配信しています。

<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/>



傍聴してみませんか

- 傍聴席は44席（先着順）
- 事前の申し込みは不要です。
- 詳しい日程は、市議会ホームページでご案内しています。
- ご不明な点は、議会事務局
（☎0299-55-0111）へ
お問い合わせください。

次の定例会は
「令和元年 第3回 定例会」
9月4日（水）開会の予定です

4日（水）開会、議案の上程
6日（金）一般質問
9日（月）一般質問
10日（火）一般質問

広報委員会

委員長 阿部 孝太郎
副委員長 中城 かおり
委員 鈴木 裕
// 土子 浩正
// 高野 市郎
// 伊勢山 仙寿

議会だよりの
ご意見・ご感想を
お待ちしております。



議会トピックス

～議会日誌～

5月

- 8日 全員協議会
- 10日 令和元年第1回行方市議会臨時会
- 13日 百里基地周辺市町協力会総会
- 15日 行方市文化協会総会
- 16日 行方ふれあいまつり実行委員会
- 17日 茨城県東市議会議長会定例会
- 18日 鹿島アントラーズホームタウンデイズ「行方の日」
- 23日 鹿行政経懇話会
いきいき茨城ゆめ国体行方市実行委員会第6回総会
- 24日 議会運営委員会
全員協議会
- 25日 行方市百里基地周辺整備協議会
定例総会
青少年育成行方市民会議総会
- 27日 茨城県市議会議長会定例会

6月

- 3日 令和元年第2回定例会（開会）
広報委員会
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 10日 予算特別委員会
- 11日 全国市議会議長会第95回定期総会
- 12日 総務委員会
- 13日 教育厚生委員会
- 14日 経済建設委員会
- 17日 予算特別委員会
全員協議会
- 18日 鹿行政経懇話会
茨城100kウルトラマラソン実行委員会
- 21日 令和元年第2回定例会（閉会）
- 24日 霞ヶ浦北浦治水利水環境促進同盟会
通常総会
東関東自動車道水戸線潮来～鉾田間
建設促進期成同盟会通常総会
- 27日～28日 教育厚生委員会管内視察研修
- 28日 茨城空港利用促進等協議会総会

7月

- 4日 国道354号整備促進協議会総会
- 9日 三重県鈴鹿市議会（新緑風会）行政視察
行方地域医療協議会総会
- 16日 TX 茨城空港延伸議会期成同盟会総会
広報委員会
- 17日～18日 経済建設委員会 行政視察
- 18日～19日 総務委員会 行政視察
- 22日 水戸神栖線・玉里水戸線道路建設
促進期成同盟会総会
広報委員会
- 23日 茨城100kウルトラマラソン実行委員会
- 23日～24日 教育厚生委員会 行政視察